

2019年度 第8回 理事会 抄録

日時： 2019年12月8日（日） 9：30～11：30
場所： 田町カンファレンスルーム
出席： 理事： 半田、内山、斉藤、森本
網本、大淵、小川、梶村、清宮、黒澤、佐々木、白石、大工谷、高橋（哲）、
高橋（仁）、田中、谷口、友清、藤澤、山根
監事： 太田、長澤、辺土名
欠席者 理事： 中川、松井、吉井
監事： なし

I. 審議事項

（全3題）

1. 内閣府への事業変更申請について	（半田会長）	承認
内閣府への事業変更申請について、以下の点を変更申請することが承認された。		
<ul style="list-style-type: none">・他国理学療法士等の人材育成事業・国際協力事業の講座、セミナー、育成に関して、その対象を国外の理学療法士、国民とすること		

2. 都道府県理学療法士会が実施する協会創立55周年事業への助成について	（半田会長）	承認
都道府県理学療法士会が実施する協会創立55周年事業への助成について、1士会あたり上限100万円として支給することが承認された。		
【質問】		
<ul style="list-style-type: none">・対象となる事業の実施期間を教えてください。 →7月中旬からの1か月程度の間を想定してほしい。 また、本事業の一環として、読売新聞への広告掲載を予定している。そこにイベント情報を掲載する可能性があるため、5月下旬までに日程と場所を決めてほしい。・委託事業なのか共催事業なのか、原則的な立場を確認したい。 →運営の主体は士会で、協会は助成金を出すということ。・55周年事業を実施する目的について士会に周知されているか。 →前回の組織運営協議会で説明を行った。理学療法の啓発を全国で広く実施するために積み立てた特定資産があり、それを士会への助成金として使用するということ。・これから要項が各士会に配布されると理解する。助成金について、士会の財政の運用上、先払いか後払いかという具体的なことも示していただきたい。 →中間払い、最終払いの2回に分けることも検討する。・報告議題にある「全国一斉イベント」として行う事業を指すのか。別の事業を行ったほうがよいのか。 →指定の期間内であれば、一斉イベントだけでなく、理学療法の啓発に関する企画事業も可。また、新規事業に限定しないので既存事業でも構わない。		

- ・60周年記念も同様に計画するのか。次回も実施するのであれば2年前くらいに通達してほしい。
- ・士会も金額を提示されなければイメージが出来なかったと思う。また、既存事業も予算は事前に確保している。助成されるのであれば別の事業を検討されるので、提示の時期が遅かったと思う。
→次回以降は前年度の9月までに通知できるように努める。
- ・趣旨について、会員から集めた会費をどう使用するかを十分に詰められていないのではないかと。
→全国の事務局長会議、組織運営協議会でも説明している。詳細が出されたかという点を出せていないが、プロセスとしては問題ない。
→執行を任されている理事会として検討が甘いのではないかと。予算でいうと学会であれば5月くらいに準備をしている。士会も同様だと思う。それに間に合うように提示すべきだったと思う。
- ・士会への通知文書についてスケジュールも記載された案を提示してほしい。
- ・士会の予算規模が違うので、上限100万円を実施できる事業がそれぞれ異なるので、それを想定して次回以降は企画してほしい。

3. 新入会員の承認について (半田会長、内山副会長、斉藤副会長、森本副会長) 承認

2019年10月2日～2019年11月15日の間、新たに申請をした正会員463名の入会について承認された。また、復会者63名、休会者123名、退会者119名、賛助会員退会2社であったことが併せて報告された。

II. 報告事項

(全16題)

1. 新会館建設資金借入について (半田会長)

新会館建設資金借入について、2020年3月の中間払いに合わせて5億5千万円を5年間で借入を行うことが報告された。2025年3月までに完済予定である。

完済にあわせて、2024年総会時に会館積立金徴収について決議を予定している。

【主な意見】

- ・総会での会館積立金徴収の決議とは廃止か。
→その方向である。それ以降は会費の中で積み立てることを検討する。
- ・オープンセレモニーはあるのか。
→未検討であるが何かしらは必要と思っている。

2. 専従役員行動録について(10～11月) (半田会長、斉藤副会長、森本副会長、大工谷理事)

専従役員の10～11月分の行動録について報告された。

【主な意見】

- ・組織率は大事だと思うが、母数はどのように考えるのか。母数に死亡者が含まれているので問題がある。
- ・生涯学習のシステムティックにされていなかったところの見直しを期待する。具体的には、E-ラーニングのオーソライズ・監修を誰がするのか。認定・専門理学療法士制度のポイントを誰が管理し、誰が認めるかなど規程の整備など周辺のシステムの検討について質問したい。

→生涯学習課の中に外部の方も入れて前期・後期研修のシラバスを検討するチームを作っている。認定・専門もフレームワークの作成を進めており、ご指摘の委員会を設置することも必要と認識している。医師会などを組織作りの参考とする。

→学会の審議員とも情報共有していただければと思う。

→議長とは情報共有の機会を持っている。学会と連携できるところ・できないところがあるので作り方は検討の余地があると思っている。

・経産省との自費の脳卒中リハ、職能団体と呼ばれたというのは今回初めてか。診療・介護報酬だけでは増える理学療法士数に対応できないというのは、施設としても同様。なぜ経産省が我々の団体に興味をもってくれているのか。今後どのように関係を持っていくのか。

→アメリカでは開業権があるが医師の指示でやることになっている。足かせがありすぎると裁量権がなくなるが。

→自費を受けられるのは裕福な人。100年ライフに基づくような民間保険制度を作りたいと言われている。ただ、自費だと貧富の差が相当出ると思う。

3. 事務局報告について（10～11月）

（大工谷理事）

10～11月の事務局報告がなされた。

4. 2019年度実施の日本理学療法士協会代議員選挙の選挙告示・実施要項の報告について

（高橋委員長）

2019年度実施の日本理学療法士協会代議員選挙の選挙告示・実施要項について報告された。告示は1月8日（水）に行われる予定である。

5. 2020年度収支予算概況について

（半田会長）

2020年度収支予算概況について報告された。

6. 大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会「令和2年度拠出金の増額についてのお願い」について

（半田会長）

大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会より、令和2年度拠出金倍増（36万円→72万円）の依頼が届いたことについて報告された。

7. 国際事業に関わる他団体への入会について

（大工谷常務理事）

アジア健康構想に資する事業の一環として、一般社団法人スマートシティ・インスティテュート、日ASEANスマートシティ・ネットワーク官民協議会について報告された。

8. 日本障害者協議会（JD）の2021年度の報酬改定に対する緊急要望の署名について

（半田会長、黒澤常務理事）

日本障害者協議会の2021年度の報酬改定に対する緊急要望書について、特に反対する部分が泣いたため署名したことが報告された。

9. 第71回保健文化賞の選考結果について

(砥上委員長)

第71回保健文化賞に本会から推薦した1名が、受賞者として選出されなかったことについて報告された。

10. 懲戒処分について

(半田会長)

2019年度上半期の会長不祥事案件1件について、懲戒委員長より提出された答申書に基づき、会員権利停止3か月の処分としたことが報告された。

11. 理学療法士賠償責任保険の幹事代理店の変更について

(半田会長)

理学療法士賠償責任保険の幹事代理店について、2020年1月1日をもって日本橋保険センターから丸紅セーフネットに変更されることについて報告された。

12. 介護予防・健康増進をテーマとした全国一斉イベントの案内について

(吉井常務理事)

介護予防・健康増進をテーマとした全国一斉イベントについて、2020年度は7月12日(日)を開催日とすること及びそれについて士会に周知することについて報告された。

13. 日本理学療法士学会報告

(高橋(哲)常務理事)

学会運営審議会の承認・報告事項について報告された。

1. 第5回運営審議会審議(10月19日)

(1) 承認

- ・倫理審査部会審査員の追加について(資料1)
- ・第3回がん理学療法部門研究会の企画書等について(資料2)
- ・第6回日本呼吸理学療法分科学会 学術大会の企画書等について(資料3)
- ・基本評価検討委員会委員の追加選出(資料4)
- ・第7回日本予防理学療法学術大会の企画案修正等について(資料5)

(2) 報告

- ・大学院あり方委員会報告書の報告(資料6)
- ・日本理学療法士学会投稿規程等の一部改定について(資料7)

2. 第6回運営審議会審議(11月16日)

(1) 承認

- ・第8回日本スポーツ理学療法学会学術大会の企画書等について(資料8)
- ・第8回日本理学療法教育学会学術大会・第2回管理研究会最終企画書について(資料9)
- ・第24回日本基礎理学療法学会学術大会の最終企画書(資料10)
- ・第27回日本基礎理学療法学会学術大会の企画について(資料11)
- ・第6回日本地域理学療法学会学術大会の最終企画書(資料12)

- ・腎臓病療養指導士のためのCKD指導ガイドブック2020執筆者の推薦について（資料13）

(2) 報告

- ・2017年度分科学会・部門が行う職能に資するエビデンス研究（資料14）
「糖尿病足病変・糖尿病腎症患者に対する理学療法効果の検証」の報告について
- ・2019年度開催の各分科学会・部門学術集会等の報告について（資料15）

3. 2019年度第3回倫理審査部会（10月26日）

- ・R01-001 在宅がん患者の訪問リハビリテーション利用による経過および影響に関する観察研究 条件付承認（11月11日承認）
- ・R01-002 住民主体の通いの場に対する複合的運動プログラムの効果と影響因子の検討：クラスターランダム化比較試験 条件付承認（11月27日承認）
- ・R01-003 超音波画像診断装置を用いた幼児期の重症心身障がい児における筋輝度の評価 条件付承認
- ・R01-004 妊娠・出産が体力・身体機能に及ぼす影響に関する研究 変更の勧告
- ・R01-005 学童野球選手における上腕骨小頭解離性骨軟骨炎の身体機能からみた危険因子の検討 変更の勧告
- ・R01-006 当院入院中にご当地体操を体験した患者が退院後において、その経験した体操を継続するかのアンケート調査 変更の勧告

14. 常任理事会 会議報告（10月19日）

（大工谷理事）

10月19日に開催された第6回常任理事会の結果について報告された。議題は以下の通り。

協議事項：

1. 理学療法士業務指針の目次案について
2. 2019年度第6回審議（決議）及び承認事項、第4号議案「現役士会長の根拠のない本会批判に対する対応について」に関する再審議について
3. 2020年度の重点事業（案）について
4. 2020年度の事業予算について
5. 日本予防理学療法学会が企画・運営する研修会について
6. 事務局関連規程等の整備に係る顧問契約について
7. 学会版MMT&ROM評価指針の発行について
8. 2020年度の認定理学療法士の申請期間について
9. 第56回日本理学療法学会学術研修大会 in 愛知 企画骨子案について
10. 自然災害に被災した会員の学会事前登録参加費の取り扱いについて
11. カンボジア理学療法士協会およびカンボジア健康科学大学との協定書締結について

報告事項：

1. 健康経営への理学療法士の参画について
2. 理学療法士職員（正規職員）募集について
3. 今夏の参議院選挙を終えた本会・連盟としての総括について
4. 理学療法士作業療法士専任教員養成講習会の開催指針について
5. 理学療法ガイドライン第2版出版委託企業の選定について
6. 資金繰りについて

15. 常任理事会議 会議報告（11月17日）

（大工谷理事）

11月17日に開催された第2回業務執行理事会議の結果について報告された。議題は以下の通り。

協議事項：

- 1.2020年度職員人事案について
- 2.2020年度国際事業課事業について
- 3.WCPT-AWP2020 総会への財政支援および出席者について
- 4.WCPT membership に関する投票について
- 5.会員歴50年以上の会員に対する感謝状の表彰について
- 6.理学療法ガイドライン第2版出版委託企業の選定について
- 7.55周年記念事業について
- 8.会員が行う他団体の研究助成に対する本会の推薦について
- 9.2019年度賛助会員懇親会の進行（案）について
- 10.他国協会役員による講習会と意見交換について
- 11.新制度における認定理学療法士・専門理学療法士制度について
- 12.認定・専門理学療法士制度構築委員会の終了について

報告事項：

- 1.国際案件に係る役員対応予定について
- 2.2018年度 WCPT 年次報告について
- 3.2020年度 理事会等諸会議日程（案）
- 4.2020年度理学療法士賠償責任保険制度の任意加入部分（個人賠償責任保険）の保険料について
- 5.資金繰りについて

16. 業務執行理事会議 会議報告（11月17日）

（大工谷理事）

11月17日に開催された第3回業務執行理事会議の結果について報告された。議題は以下の通り。

協議事項：

- 1.2020年度 事業計画ならびに予算案について

以上